

2023年度設置モジュール



人材・組織マネジメント 杉浦 正和 教授

「経営はつまるところ『ひと』と『組織』だ」——そのように考えている方には、本モジュールが最適です。通称は「プロの人材ゼミ」。経営の様々な課題について特に「ひと」と「組織」に焦点を当てて深く考え抜くことを目的としています。2年間行われるゼミの初年度は、個々の問題意識を共有したうえで理論・枠組み・事例について学びます。2年目は、実務に応用する「howの問い」と原理を探求する「whyの問い」を同時に大切にしながら、論文を仕上げます。同時に、ゼミの1期前後のメンバーおよび卒業生たちや夜間主総合の人材ゼミのメンバーたちと縦横にネットワークを広げていきます。広く「ひと」と「組織」に関わる問題意識を持つ方や人材のマネジメントとディベロップメントを通して組織に貢献しチームをリードしたい方が、活発な意見交換を通してじっくりと考えを深化していくことのできる機会を提供します。

主な専門科目

- ミッションとリーダーシップ
- グローバル人材マネジメント
- ビジネスコーチング
- 戦略的人材組織マネジメント(隔年)/
- ビジネスファシリテーション
- ビジネス・リーダーシップ(隔年)
- 組織と人事の理論と実践
- 経営と脳科学



事業創造とアントレプレナー 長谷川 博和 教授

本モジュールのねらいは、「事業創造とアントレプレナーに関するマネジメント」の分野における高度な専門性を獲得することです。その中心的受講生は、①将来ベンチャー企業を創業することを想定する方、②大企業で新規事業や新たな収益源を生み出したい方、③ファミリービジネスの事業承継者、の3分野です。この3分野における成功・失敗要因を評価・分析し、不連続な技術革新についての対応力をつけ、更にはオープンイノベーションを推進するために、大企業、ベンチャー企業とファミリー企業との連携の在り方等を検討することによって、専門職学位論文を仕上げることを目的とします。これら3分野は独立して存在するのではなく、相互に関連しながらダイナミックに成長してゆくものであり、その相関性について重点的に議論していきます。本モジュールの基本姿勢は、実践と理論の融合を重視して進めてゆくこと、「明るく厳しいモジュール」となります。

主な専門科目

- スタートアップ・ファクトリー
- 事例で学ぶベンチャー・新規事業の創造
- ファミリービジネスと国際化
- ベンチャー・ファイナンス
- 事業承継者のアントレプレナーシップ
- イノベーションのための経営システム設計



グローバル経営 平野 正雄 教授

本モジュールは、グローバルをキーワードにしながら、第一線のビジネス現場にて活躍できる人材の育成を目指しています。重点を置いているのは、学生一人一人のビジネスパーソンとしての総合力の底上げです。そのためにナレッジ(専門知識の深堀)、スキル(課題解決能力の修得)、そしてマインド(人間的な成長)を総合的に強化するための独自の教育プログラムを提供しています。まず、ナレッジについては、主に論文執筆を通して最新の経営理論を理解すると共に、実際の応用事例を学ぶことで、実践的な知識として体得することを目指します。その際のテーマは、戦略策定、ビジネスモデル設計、組織人事改革、M&A、イノベーションなど、学生自身の関心に応じて柔軟に設定することが可能です。また、当モジュールでは個人個人のスキル開発を特に重視しており、論理思考、戦略構想、データサイエンス、コミュニケーションなどの課題解決力全般の強化に取り組んでいます。そのために独自の演習プログラムやワークショップを実施するなど、体系的なスキルアップに注力しています。さらにマインドについても、仕事を離れて自分自身を見つめ直す場を設けて、各自がこれからのキャリアやライフプランを考える機会も提供しています。2年間かけて、じっくり自己を見つめ直し、一段の自己成長を目指される方々の応募をお待ちしております。

主な専門科目

- グローバル人材マネジメント
- 持続成長戦略論
- 企業価値創造型経営
- 実践コーポレート戦略
- 経営学における理論と実践
- イノベーション研究のための定量分析



技術・生産マネジメント 藤本 隆宏 教授

このモジュールでは、企業・産業・現場のオペレーション（広義のものづくり）を、付加価値を担う設計情報の「流れ」を管理し改善するという観点から分析します。具体的には、①現場において付加価値を担う「良い設計の良い流れ」を制御するものづくり組織能力（例えばトヨタシステム）、②製品など現物の設計思想つまり製品・工程アーキテクチャ、③「選ばれる力」である表層・深層の競争力の間の動的な関係を見ます。また、製品開発・生産・購買・販売・サービス等の現場の「良い流れ」（品質・生産性・リードタイム・柔軟性：QCTF）の管理と改善、現場の生産資源（人的資源・設備・材料：3M）の入手・維持・改良などについて学びます。多くの現場現物の実例を用います。製造業、サービス業、農林水産業、生産部門、開発部門、サプライチェーン、ビジネスモデルなどをすべて含みます。デジタル化、グローバル化、大災害対応、サステナビリティ対応など、さらに、インクルーシブなものづくり経営、プラットフォーム競争時代の補完財戦略、ウィズコロナ時代・ウクライナ危機以後のサプライチェーンなどのテーマにもどんどん応用していきます。

主な専門科目

- 技術と戦略
- 生産・開発マネジメント(1)
- 生産・開発マネジメント(2)
- マーケティングと新市場創造
- 深川の産業集積とハードウェアのマイノバージョン



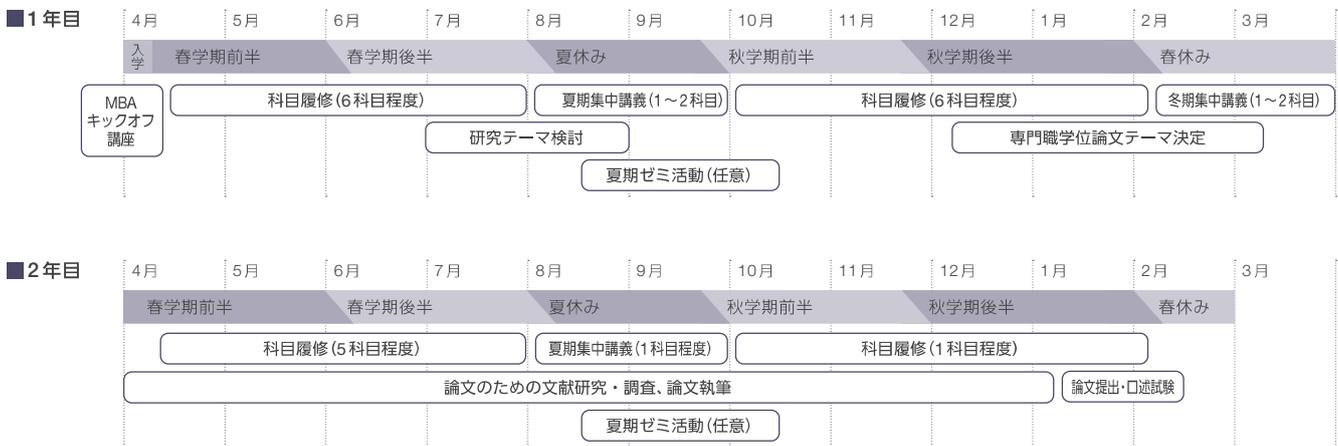
スポーツビジネス 松岡 宏高 教授

スポーツビジネス、つまりスポーツに関連する事業のマネジメントやマーケティングについての理解を深めることをねらいとしています。スポーツをバックグラウンドにビジネスを学びたい方、ビジネスをバックグラウンドにスポーツビジネスを学びたい方、両者に受講してほしいモジュールです。スポーツマネジメントやスポーツマーケティングという学問の面白さは、そのプロダクトと消費者行動のユニークさに起因します。「なぜ、負けても負けても試合会場に行くのか?」「なぜ、スポーツには多くのスポンサーがつくのか?」これらの疑問の背景にある固有の理論や概念をスポーツビジネスの実践とリンクさせながら学ぶことを目的としています。本モジュールでは、講義形式に加えて、ケースメソッドやグループワークなどを用いて、理論的かつ実践的に学びを深めます。

主な専門科目

- マーケティングと新市場創造
- グローバルビジネスのマネジメント
- 事例で学ぶベンチャー・新規事業の創造
- スポーツビジネスマーケティング特論

2年間のスケジュール



修了要件

2年以上在学して50単位以上を修得し、演習および研究指導を経て専門職学位論文を執筆します。

論文審査および試験に合格した者に対して、「経営管理修士(専門職)」の学位が授与されます。

必修コア科目	選択科目			専門研究			計
	日英科目	海外開講科目	一般選択科目	演習	研究指導	専門職学位論文	
14	24 ~			8	合格	4	50

※ 早稲田大学内の他研究科や交換留学先の海外大学院に設置されている科目の単位は、審査の上、修了必要単位に算入できる場合があります。

※ モジュール専門科目(所属するモジュールが指定する選択科目)の中から、3科目6単位以上修得することを履修指導します。

※ 選択必修コア科目(MBAプログラム)を修得した場合、一般選択科目の単位として算入します。

※ 「研究指導」に単位付与はありませんが、所定の指導を受け合格する必要があります。

※ 「研究指導」は2年次以降の配当となります。